



学校通信

夕陽丘 第19号



【第2学年】

主任 諸正 邦彦

63期台湾修学旅行の思い出 「? 好台湾」

2009年 12月16日(水)~12月19日(土)

63期の修学旅行は新型インフルエンザの影響を受け、出発が懸念されたり旅行中の発症が心配されましたが、修学旅行団全員素晴らしい思い出と共に無事帰国でき本当によかったと、付き添い教員一同安堵しています。

残念なことは、当日になって新型インフルエンザを発症し参加出来なかった生徒が二人いたことです。

さて、3泊4日の行程は以下の通りです。

第1日目 関空 台湾入国 入国後、故宮博物院・忠列祠・中正紀念堂
・台北101・龍山寺・行天宮・夜市をクラス単位で見学

第2日目 国立板橋高級中学(板橋高校)との交流会 交流会終了後、京劇鑑賞

第3日目 台北より台湾新幹線で高雄へ、高雄孔子廟・蓮池潭龍虎塔・夢時代・旗津海岸風景区 台湾新幹線で台北へ

第4日目 二二八和平公園・故宮博物院 台湾出国 関空

今回の台湾修学旅行では、台湾の歴史や文化、気候風土、京劇鑑賞、板橋高校との交流、台湾新幹線を利用したの台北に次ぐ台湾南部の大都市、高雄市見学と非常に盛りだくさんの内容でした。

歴史文化では故宮博物院・忠列祠・中正紀念堂・龍山寺・行天宮・夜市・高雄孔子廟・蓮池潭龍虎塔見学や京劇鑑賞などを行いました。

中正紀念堂ではその規模の大きさに圧倒されると同時に均整のとれた美しさ、色彩のバランスに驚嘆しました。またいくつかのクラスは直立不動の衛兵の交代式を見ることが出来ました。この衛兵交代式は忠列祠でも見ることが出来ます。このような衛兵交代式は日本では日常的に見ることが出来ず、生徒達は国情の違いを肌で感じていました。総統府近くに行ったクラスも、総統府を警護する憲兵が自動小銃を持っていることに国情の違いを実感していました。また台北の駅や高雄の駅に憲兵隊の詰め所があったことに気付いた生徒たちからは、やはり驚きの声が聞かれました。ところで総統府は、日本統治時代に作られた赤煉瓦のルネサンス様式の建築物で東京駅に似た造りになっています。



発行 〒543-0035 大阪市天王寺区北山町 10-10 大阪府立夕陽丘高等学校

TEL 06-6771-0665 FAX 06-6771-6267 E-mail: z-yuhigaoka@sbox.osaka-c.ed.jp

ホームページ <http://www.osaka-c.ed.jp/yuhigaoka>

携帯サイト <http://www.osaka-c.ed.jp/yuhigaoka/keitai/keitai.htm>

(題字 森 敏行先生)

故宮博物院では中国 4 千年の貴重な文物に触れることができました。象牙細工や水晶の白菜に似せた置物などは素晴らしい作品でした。また、展示品の中には世界史の教科書や資料集に写真が載せられており、実際の貴重な資料に触れる機会に感激の思いをした生徒が多数いました。

各地の寺院見学では日本の寺院と違い、色彩豊かな建築に黄金色に輝く「仏」など正に文化の違いを実感していました。また高雄孔子廟では来るべき進路実現に向けて、手を合わせ真剣にお参りする生徒の姿が見られました。

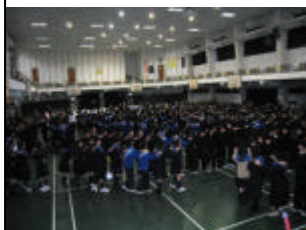


気候風土では北緯 35 度の北回帰線を新幹線で通過し、亜熱帯の台北と熱帯の高雄の温度差や街路樹などの植物の違いに気付かされました。新幹線乗車の際には、本校卒業生の仲津英治氏の事前学習の講演を思い出した生徒もいたことでしょう。（仲津氏は台湾新幹線の安全運行システムの技術指導をされました。）

京劇鑑賞では鮮やかな衣装に独特の台詞回し、特徴的な音楽に目を見張っていました。特に、獅子の山登りは圧巻で生徒達はそのアクロバットの舞に驚嘆していました。京劇の出し物は生徒にも馴染みある「西遊記」で孫悟空が活躍する場面が多く、鑑賞後は感激の拍手が盛大にわき起こりました。



国立板橋高級中学との交流会は、雨の中にもかかわらず板橋高校生徒の皆さんが校門から交流会場まで立ち並び、われわれ夕陽丘の訪問団を熱烈に歓迎してくれました。交流会場では、両校学校長の挨拶、記念品交換がおこなわれたあと、生徒代表の挨拶で夕陽丘からは日本語、英語、北京語（中国語）の三カ国語でおこないました。特に中国語での挨拶は、板橋生徒の大喝采を受けました。このような和やかな雰囲気の中、両校交流イベントがおこなわれましたが、音楽科の生徒諸君が板橋高校の校歌を合唱したとき、板橋高校の生徒たちは驚きと共に感激の拍手が巻き起こりました。板橋高校の生徒が音楽科の合唱に合わせて校歌を歌った様子は、正に学校交流の神髄、二つの文化が昇華する思いをし、感動しました。その後は体験授業へと交流場所を移し、グループで板橋高校



の授業を体験しました。授業は概ね英語でなされたので、中国語よりは理解可能であったと思われます。昼食も板橋高校側が用意されて夕陽丘生徒、板橋高校生徒が交じり合い楽しい雰囲気の中、一層交流が深まりました。その後グループごとに市内散策に出かけ、帰校後はいよいよ終わりの会ということで、夕陽丘の生徒のリーダーシップで「列車ゲーム」をしました。今回の交流では、このゲームが最後ということもあり大変な盛り上がり

をみせ夕陽丘・板橋の両校生徒の心・絆が一つに強固に結ばれました。板橋高校との交流は大成功のうちに関わり、別れを惜しみつつ板橋高校を後にしました。

今回の台湾修学旅行は新型インフルエンザに振り回されること多々ありましたが、旅行中は幸いにもインフルエンザを発症した生徒もおらず、全員無事帰国できたことは修学旅行が成功裏に終了したことを表しています。生徒達の心に台湾修学旅行を通して異文化理解のなんたるかが芽吹き、これからの生活の中で台湾のみならず諸外国への興味・関心を抱く一助になることを願って止みません。



「 謝謝 台湾 再見 台湾 」

【第3学年】

主任 岩元 健

平常心

優れた人は静かに身を修め徳を養う。
無欲でなければ、志は立たず、
穏やかでなければ道は遠い。
学問は静から、才能は学から生まれる。
学ぶことで才能は開花する。
志がなければ学問の完成はない。
(諸葛孔明「家訓」より)



いよいよ卒業まで残すところ僅かとなりました(授業日約2週間)。すでに進路が決まった人もありますが、多くの方がこれから受験を迎えようとしています。もうジタバタしても仕方ありません。今までやってきたことを信じて普段通りの気持ちで落ち着いて受験なさい。それから、あまり夜更かしなどせず睡眠をしっかり取り、体調管理に十分気を付けなさい。「無事これ名馬」とも言われます。今まで培ってきた力が100%発揮できるよう心身共に充実させる事が大切です。平常心で、さあこの冬休みラストスパート!がんばれ、受験生!!

【第1学年】

主任 槇野 理啓

1年生 あっという間の9ヶ月

ついこの間入学したような気がするのに、あっという間の9ヶ月。遠足、体育祭、文化祭、球技大会、合唱コンクール、英語暗唱大会…。定期考査も5回中4回が済みました。生活のリズムも勉学態度も、すっかり高校生らしくなりましたはず…。

そしていま、2年生以降のコース・科目選択について考えてもらっています。大きくは文系か理系か、それにどの科目を選択していくか。それは、将来の進路を考えることでもあります。

「まだ高校生になったばかりでその気になれない」「何をやりたいのか自分ではわからない」…。

そういうことは、たしかにあるでしょう。でも、決めるときにはしっかりと決める。あと1年もすれば受験体制に入っていきます。高校生が自分で何も決断できないようでは情けない。それなりに真剣に考えて、それなりに結論を出す。これからの人生で何度も遭遇することです。

とはいえ、ありとあらゆる条件を考えて完璧な答えを出す。そんなことは無理です。だからといって、どうせ考えてもムダだから適当に。

それでは前進できません。いまの時点で考えて、最良と思われる道を選びましょう。同時に、たかがコース・科目選択、間違えたってたいしたことではありません。こだわりすぎず柔軟に。

いずれにしても、「これはイヤだから」「あれは難しいから」と、ネガティブに選ぶのではなく、「これならやってみたい」「あれがおもしろそうだ」と、ポジティブに決断しましょう。

そのほうが、たがいに(生徒も教師も)楽しいんじゃないでしょうか。



【進路指導部】

推薦入試等合格者数(含浪人)中間報告

大学	合格数	短大	合格数
大阪教育	3	京都女子	1
兵庫県立	1	武庫川女子	1
関西	9	大阪キリスト教	5
関西学院	2	大阪音楽	1
同志社	1	京都外国語	1
京都産業	3	奈良芸術	1
近畿	44	白鳳女子	1
龍谷	7	関西外国語	1
武庫川女子	6	大阪信愛女学院	1
同志社女子	4	大手前	2
大阪薬科	1		
京都外国語	4	専門学校等	合格者
大阪経済	1	(独)大阪医療センター看護	1
畿央	2	大阪警察病院看護	2
大阪音楽	4	新大阪歯科技工士	1
大阪芸術	5	日本歯科学院	1
大阪総合保育	1	ル・トーア東亜美容	1
大阪大谷	1	大阪自動車整備	1
天理	1	ホンダテクニカルカレッジ関西	1
森ノ宮医療	1	ECCコンピュータ	1
関西外国語	7	ESA音楽学院	1
摂南	10	京都ピア技術	1
京都精華	2	大阪スクールオブミュージック	1
神戸女学院	1	大阪デザイナー	1
大阪工業	2	大阪総合デザイン	1
追手門学院	1	駿台観光&外語	1
仏教	1	読売国際ビジネス	1
奈良	1	大原簿記	1
大阪樟蔭女子	1	大原スポーツ&メディカルヘルス	1
神戸女子	12		
大阪産業	1	公務員	合格者
帝塚山	1	大阪府行政B(警察事務)	2
宝塚造形芸術	1	八尾市行政職(事務職)	1

今年度の推薦入試の結果は、昨年度の比べて少し合格者が増えました。国公立大学の推薦入試では、大阪教育大学3名(音楽科)、兵庫県立大学1名(普通科)合格しました。

【音楽科】

第13回定期演奏会 9月27日(日)

恒例の音楽科定期演奏会がNHK大阪ホールにて開催されました。今年は新型インフルエンザの猛威で開催が心配されましたが、無事に当日を迎え、和楽器演奏、独唱、独奏、アンサンブル、合唱、オーケストラ、合同演奏の各演目で、日頃の練習の成果を聴いていただくことができました。会場を埋め尽くしたお客様からは、ブラボーの声とともに万雷の拍手をいただき、大きな達成感を味わうことができました。



喜びの声

第63回全日本学生音楽コンクール ピアノ部門(高校の部) 全国第1位

2年8組 生熊 茜 さん

演奏中は「無の状態」で、とにかく自分の演奏をすることだけを心がけていました。結果を聞いたときは信じられない思いでしたが、先生にも褒めていただき、だんだんと実感がわいてきました。熱心にご指導いただいた先生方、応援して下さった方々のおかげと感謝しています。これからも自分の音楽と向き合い、さらに努力を続けたいと思います。

今後の音楽科行事

1月30日(土) 12:00~

第143回ピッコロコンチェルティスタ(学内演奏会)

2月6日(土) 時間未定

音楽科3年生演奏会

*会場はいずれもヴィオーラホールです。



【生徒指導部】

冬休みは年末、年始に楽しいイベントを計画している人も多いと思いますが、高校生としてのルール、夕陽丘の生徒としてのルールを守る事を忘れないで下さい。

特に飲酒、喫煙はもちろんのこと最近若者の間で流行している薬物にはいっさい手を出さないこと。気持ちを緩めることなく自分の行動に責任を持ち、他人に迷惑をかけないようにしましょう。

遅刻について（7・8・9・10・11月分）

	SHR 遅刻	授業遅刻	合計	昨年度	一昨年度
1年生	236	200	436	249	426
2年生	233	201	434	653	683
3年生	350	798	1134	1022	1120
合計	819	1199	2004	1924	2229

「何とかしよう」 SHR遅刻（遅刻全体の約半数になっている）

- ・SHR遅刻になる人は8時30分SHRにギリギリ間に合えば良いだろうと家を出てきていませんか？しかし、社会人は約束の時間にギリギリ行くようなことは何かトラブルが起こった時に取り返しのつかないことになったり、社会的信用を失うことになるのでやりません。君たちが一生高校生のままならそのような考え方で行けば良いですが、社会に出てからの方がはるかに長いのです。今のうちからきちんとした生活習慣を身に付けておきましょう。3年間の出欠状況は卒業していく時に消えるものではありません。あとで後悔しないようにあたり前の事をあたりまえにこなして行きましょう。とくに遅刻常習者はいいかげん目を覚まさないとい手遅れになります。
- ・3年生は高校生活も残りわずかになってきました。進路が決定した人は4月からは厳しい現実が待っています。4月からの新しいスタートに支障のないよう卒業まで規則正しい生活を送りましょう。
これから大学などを受験する人にはいつも話をしていますが、入試は朝から始まります。朝一番から力が発揮できるように朝型の生活パターンにしましょう。

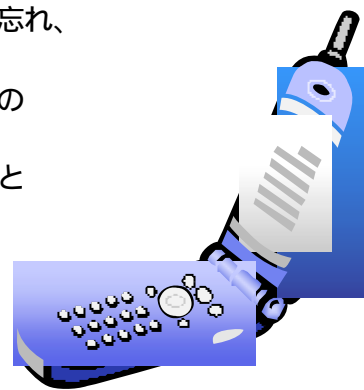
携帯電話について

4月から11月までに授業中の携帯使用、考査中の電源きり忘れ、直し忘れ等で指導を受けた人が25名います。

いつも話をしていますが、便利なものであるからこそ持つ人のマナーが問われます。

ルールがある以上、守れない人が多ければ当然厳しいものへと変わっていきます。携帯電話を持つものの責任としてしっかりルールを守ってください。

冬休み明けに遅刻指導強化週間、頭髪指導があるので指導を受けることのないよう、休み中もきちんとした生活を心がけて下さい。

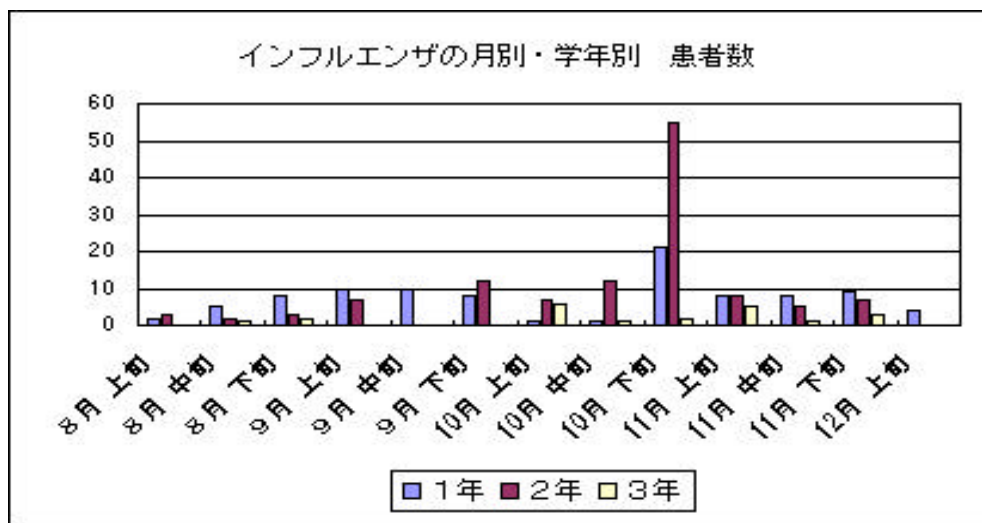


【保健部】

インフルエンザの月別・学年別 患者数

	8 月 上 旬	8 月 中 旬	8 月 下 旬	9 月 上 旬	9 月 中 旬	9 月 下 旬	10 月 上 旬	10 月 中 旬	10 月 下 旬	11 月 上 旬	11 月 中 旬	11 月 下 旬	12 月 上 旬	合 計
1年	2	5	8	10	10	8	1	1	21	8	8	9	4	95
2年	3	2	3	7	0	12	7	12	55	8	5	7	0	121
3年	0	1	2	0	0	0	6	1	2	5	1	3	0	21

計 237



全国で猛威を振るったインフルエンザについて本校での感染状況を報告いたします。8月の上旬からクラブ内で感染が始まった後、授業が開始された8月下旬から9月にかけてまず1年生に感染が広まった。その後、9月末から10・11月と2年生に多数の患者が発生した。1年生は10月に入って収まったかに見えたが、再び10月末から11月にかけて感染が拡大した。感染の状況を見ていると、明らかに互いに近くで生活をしているクラブ内・クラス内で感染しているようである。3年生は、受験を控え特に注意を払っているせいか少ない患者数で収まっている。クラブでは、剣道部・柔道部・硬式野球部・男女バスケット部・男女バレー部・硬式テニス部などが活動自粛に追い込まれた。

保健部では、各階の手洗い場や廊下にアルコール消毒液や薬用液体石けんなどを設置し、手洗いやうがいの励行・せきエチケットを呼びかけた。せき・くしゃみ・のどの痛みなど症状の残っている生徒には、感染予防のため各自でマスクを着用するよう指導した。

学級閉鎖は、延べ1年生で3学級、2年生で5学級となり、特に10月末に2年生で集中した。

12月に入って患者数が激減している状況から、このまま収束に向かえば3年生の大学受験にも影響が少ないように思われる。

常に健康的な生活を心がけ、元気で明るい学校生活を送ってほしいものです。

【国際交流委員会】

今年度後期の主な活動

1月1日(日)四天王寺ワッツ参加

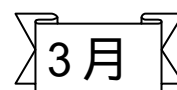
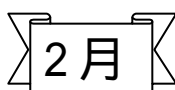
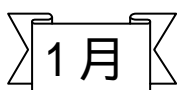
四天王寺ワッツに楽隊として吹奏楽部2年生27名が参加しました。当日はあいにくの雨でパレードは中止になりましたが、歴史博物館のホールで練習を積んできた演奏を披露しました。

12月12日(土)から12月20日(日)日本高校生台湾訪問団

1年生の中浦未菜さんが参加しました。詳しい報告は国際交流通信で報告します。

今年度はニュージーランド語学研修の延期から始まり、大阪府の日韓中青少年交流事業(本校から2名参加予定)、中国からの留学生、マレーシア、シンガポールとの学校交流など様々な交流、海外派遣が中止になりました。来年度は今年延期したニュージーランド語学研修の実施をはじめとして、充実した年にしたいと思います。

【今後の予定】



(12/25) ~ 1/7(木)冬期講習
1/8(金)1,2年宿題考査
3年授業開始
1/16(土)センター試験
17(日)センター試験
1/26(火)
~ 29(金)3年期末考査

2/10(木)1年耐寒行事
2/18(木)2年卒業生を囲む会
2/23(火)休業日(前期選抜)
2/25(木) ~ 1,2年期末考査
(3/4)

3/1(月)卒業式
(2・25)
~ 3/4(木)1,2年期末考査
3/9(火)1,2年テスト返却
3/15(月)終業式



編集後記

あと1週間で2009年が暮れようとしています。今年は、相変わらずの不景気に政権交代と先行き不透明な年でした。こんな時だからこそ、しっかり自分の足元を見つめて1歩ずつ地道に進んでいきたいものです。新しく迎える年が、幸多き年となることをお祈りいたします。

